

課題名: コンニャク生産振興による安中市の畑地活用

【評価できる点】

- ・生産性、価格においても優れている「みやままさり」を普及推進した点。
- ・地域農業の実情を十分に把握しており、課題・支援対象の選定、解決手法、目標設定などいずれも適切である。
- ・各種調査や研修会の実施により、コンニャク根腐病発病の抑制が図られた。
- ・多面的機能支払い交付金等の活用により、集落ぐるみでの鳥獣害対策がされている。
- ・根腐病発病抑制、発病度3ほ場面積30%→12%と低下した点。

【改善・強化に向けた検討事項（意見・要望と対応策）】

1 課題や目標設定に関すること

- ・松義台地の課題か、コンニャク産地全体の活用なのか、課題を整理したほうがよい。
- ・目標を、栽培面積ではなく収量にしたほうがよいのではないか。また、栽培面積減少の考察をして欲しい。
- ・根腐病の発病が減り、「みやままさり」の栽培面積が増加するなど一定の成果が出ているが、それがどうに生産振興に繋がったかを提示して欲しい。

2 活動内容に関すること

- ・若手生産者組織、TeamWest はこれからのコンニャク生産を支えていく人達なので、各方面より支援して行って欲しい。
- ・獣害対策の効果検証がされていないのでお願いしたい。獣害は相変わらず大きな問題なので、引き続き取り組んでもらいたい。
- ・ほ場越冬栽培面積の推進活動の結果・考察を頂きたい。
- ・根腐病抑制技術を県内他地域にも普及させることにより、コンニャク生産農家のさらなる振興につなげて頂きたい。
- ・「みやままさり」の栽培面積が増える一方で、コンニャク栽培面積が減っている。新たな担い手対策をどう考えているか。